



# 阪大Bコース

# 医工連携型高齢者在宅介護医療モジュール

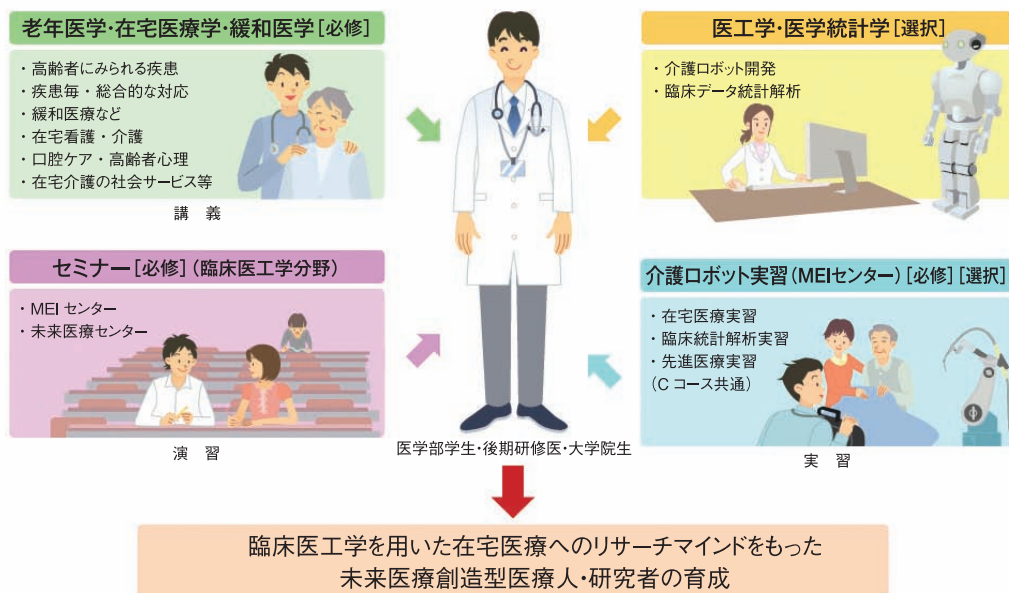
日本は少子高齢化社会が進み医療介護の環境も大きく変化しています。本コースは、臨床医工学を用いた在宅医療へのリサーチマインドを持った医学生、大学院生、医師を養成し、将来的に高齢者の在宅介護医療に目を向けた医師や研究者を育成することを目標として開講いたしました。

**対象者：** 医学部生(医学科4~6年)、後期研修医、大学院生、非常勤医員、研究生、大学院修了者

**修業年限：** 1~2年

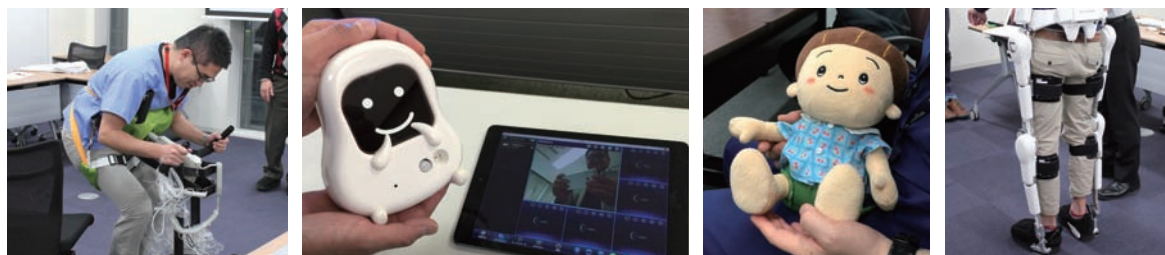
- 概要：**
- e-ラーニング講義による老年医学・在宅医療学・緩和医学の講義から本コースに適した講義を選択し聴講して頂きます。
  - 国際医工情報センター(以下、「MEIセンター」)や未来医療開発部へのセミナーに参加できます。
  - 介護ロボットが体験できる実習を行っています。
  - 臨床医工学に関する講義や医学統計専門家による講義も受講可能です。
  - 在宅医療・緩和ケア診療実習や臨床統計疫学寄附講座の包括的な実習、総合地域医療学寄附講座・MEIセンターにて開発中のシーズに関する研究などにも参加することができます。

## 阪大Bコース：医工連携型高齢者在宅介護医療モジュール 開発のための医師・研究者養成コース



# ジュール開発のための医師・研究者養成コース

## コースの 風景



## 受講の メリット

- 大阪大学には国内最先端の研究を行う大阪大学国際医工情報センター（MEIセンター）や革新的新規医療技術の実用化開発を推進する未来医療センターが既に存在しており、本コースではその研究内容を直接体験することが可能です。
- 高齢者介護の問題点を把握した上でさらに臨床医工学的な演習・実習を行うことにより
  - ▶介護・看護の肉体的精神的な負担を軽減させる実際の例を経験できます。
  - ▶新たなシステムのアイデアを考えリサーチマインドを養え、医工連携におけるノウハウを開発側受け手側それぞれの立場で学べます。
  - ▶臨床研究に必要な背景因子の確認・研究方法の策定・研究に必要な手続き・研究の実施の実際・データの管理および統計解析の実施などが学べ、リサーチを進める上で必要な知識を系統的に習得できます。
- 受講生の状況に応じて1～2年間の修業期間を選べます。
- 実習は、受講生の希望により、教員と相談して受講スケジュールを決めることが出来ます。
- 医工連携開発型総合医のコースを修了した修了証を発行します。



## 教員より



### 高齢者の在宅介護医療に目を向けた医師や研究者を育成したい!

Bコース担当:特任助教 増田 大作

初めまして、Bコース担当教官の増田です。

ロボットも介護も「どうすれば最良か?」について結論は出ていません。

これからどうすればよいかを一緒に考えましょう!



## 受講生からのコメント



### 在宅医療・ロボット工学に興味がある人に、ぜひ受講を勧めたい!

Bコース受講生:医学部4年生時に参加 銭谷 成剛 (H26年度受講)

ロボット実習をはじめとした多彩な内容となっていて、貴重な体験をさせていただいております。

医学のみならず、歯学・介護・都市計画・統計学など分野横断的に学べるのはとてもありがたいです。